知って
いました?

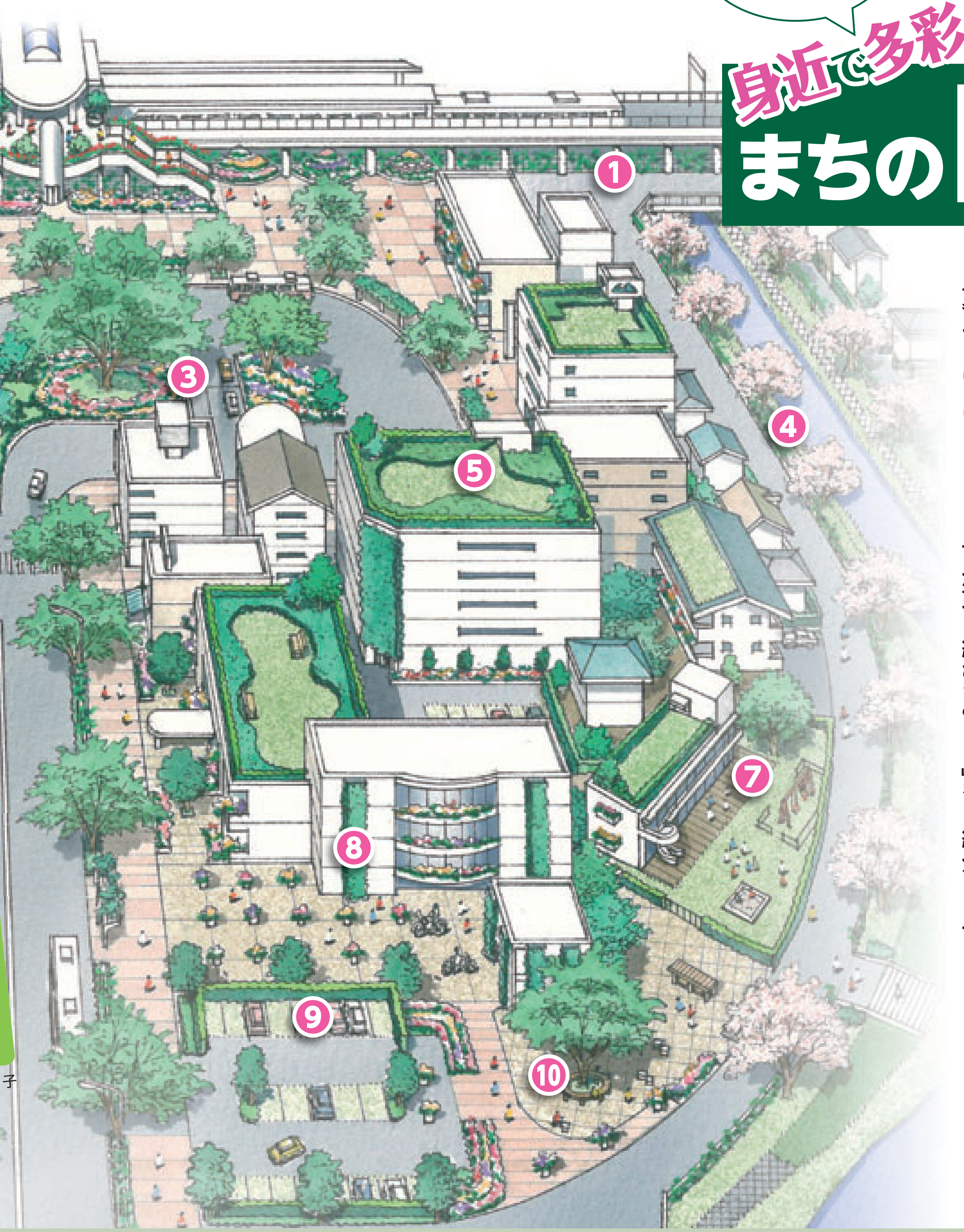
身近で多彩な
まちの「みどり」

緑は心の安らぎを与えるだけでなく、夏は涼しく、多様な生き物を育み、健康で快適な生活環境を生み出します。今号は、さいたま市が目指す緑あふれるまちについてお伝えします。

緑が大切にされている都市(まち)を目指し
身近な緑を守り、つくり、育てます

さいたま市では、「身近で多様な緑が大切にされている都市(まち)」を実現するため、今ある緑を守り、育て、新たな緑をつくることに努め、暮らしの中に緑を実感できるまちづくりを進めています。見慣れたまちの中にも、街路樹や公園、屋上緑化や市民花壇など、緑はさまざまなところで育まれています。下記の読者アンケートとあわせ、さいたま市が取り組む「みどり」をご紹介します。

さいたま市が描く、緑あふれるまちのイメージ



1 散策路の整備

与野本町駅付近の新幹線沿線
(中央区)

JR東日本の協力を得て、新幹線沿線を公園化し、緑化を行っています。

2 ベランダ緑化

さいたま新都心郵便局
(中央区)

建物のベランダを階段状にすることで、高い木が育ちやすい環境を実現しています。

3 駅前の緑化

宮原駅前
(北区)

まちの玄関口となる重要な空間として、近隣住民のボランティアにより良好な維持管理がされています。

4 河川施設の緑化

大宮第二公園
(芝川第七調節池)(大宮区)

河川や湖沼の水面は、ヒートアイランド現象の緩和に役立ち、心地よい風を市街地に送り込む役目を果たしています。

5 屋上緑化

複合公共施設「コムナーレ」
(浦和区)

ビルの8階から10階の一部は、美しい庭園になっています。

6 道路の緑化

埼大通り(国道463号)のケヤキ並木(中央区)

地域のシンボル、緑のネットワークの軸として保全に努め、低い木とあわせた緑化を推進しています。

7 在来種を利用した緑化

大宮聖苑
(見沼区)

建物自体が見沼田圃(たんぼ)に一体化したようなイメージで、緑量にあふれる景観を整備しています。

8 壁面緑化

さいたまスーパーアリーナ
(中央区)

外周面に、灌水(かんすい)装置を組み込んだプランターを固定し、ツル性の植物を植えています。

9 駐車帯の芝生緑化

見沼自然公園
(緑区)

駐車場全体を芝生と芝生保護材で緑化し、緑の駐車場にしています。

10 緑のオープンスペース

市役所のポケットパーク
(浦和区)

夏場は、階段状の広場に水が流れ、子どもたちの遊び場になっています。

次ページでは、まちの「みどり」に関わっている方々を訪ねました。

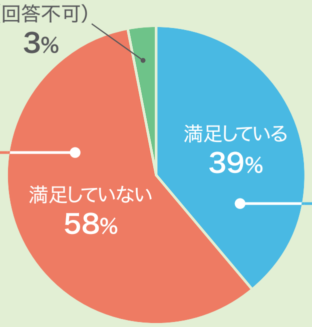
読者モニターアンケート

さいたま市の「みどり」について聞いてみました

「korekara」では、市民の声を誌面に反映させていくため、読者モニターの方々にアンケートのご協力をいただいています。今回は、さいたま市の「みどり」について満足しているかどうかと、その理由についてうかがいました。結果は、「満足していない」が半数以上。皆さんは、どう感じていますか。

あなたは、さいたま市の「みどり」に満足していますか?

モニター数83人、有効回答数71人
不回答数 12人



- 東京と比べて、緑に関しては良く整備されていると思います。
- 特に埼大通りの街路樹は、沿道の住民がきちんと落ち葉を掃いていて、意識として素晴らしいと思います。
- 氷川参道や、北浦和のケヤキ並木は素晴らしいと思います。
- ゴーヤのカーテンをよく目にします。公共の公園は、トイレや遊具などよく管理されていると思います。
- 自宅周辺の公園や個人の庭を見て、癒されています。

- 氷川参道のような大きな環境は整備されている反面、小さな公園には木が数本あるだけで、緑とはいえません。ここを何とかしてほしいです。
- 住宅地には、家がギチギチに建っていて、緑が少ないのが残念。街路樹の緑はメンテナンスが大変なので、手間を惜しまぬ覚悟が必要だと思います。
- 市街地には、まだまだ緑が少ないと思います。もともと緑豊かなところを整備するのではなく、生活に根ざした住宅地での緑化に力を注いでほしいです。

平成24年度
さいたま市民意識調査
の結果では…

さいたま市のイメージについて聞いたところ、在住者、在勤者とも、「自然の豊かなまち」が第4位になっています。